

# ちくま 千曲市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間  
平成28年度(2016年度)~令和7年度(2025年度)

千曲市は長野県の北部、長野盆地南端に位置しており、市域の中央部を千曲川が北流しています。  
千曲川をはじめ、地域ごとに歴史や伝統を反映した人びとの活動と、町並みや歴史的建造物とが一体となった歴史や文化が豊かな歴史的風致を形成しています。  
本市における維持向上を目指すべき歴史的風致とするべきものには、千曲川左岸の川西地域を中心に善光寺街道・武水別神社・更級の名月と姨捨の棚田・戸倉上山田温泉、そして右岸の川東地域の北国街道・兩宮坐日吉神社・あんずの里・森將軍塚古墳があり、それに日本一長い川の千曲川を加えた9つの要素があります。

## 1-① 善光寺街道(稲荷山)にみる歴史的風致

主に明治時代以降に建てられた店舗や住宅など稲荷山の伝統的建造物群と、そこに暮らす人びとによって結成された自衛団の活動および、その伝統的な町並みを舞台とする伝統行事の祇園祭など商都が作り出した歴史的風致です。

## 1-② 善光寺街道(桑原)にみる歴史的風致

江戸時代に建てられた酒蔵や米蔵をはじめ、善光寺街道桑原宿の面影を残すうたつや格子戸の歴史的建造物とともに、三峰山系の良質な湧水を利用した酒造りや、江戸時代から続く中原の獅子舞などの活動が引き続いている歴史的風致です。

## 2 武水別神社にみる歴史的風致

武水別神社社殿はじめ、松田家神主屋敷の齋館などで行われる大頭祭は、八幡・更級・五加地区の人びとによって四百数十年も引き継がれてきた伝統行事です。秋の収穫が終わり、冬の訪れを告げる風物詩となっている歴史的風致です。

## 3 更級の名月と姨捨の棚田にみる歴史的風致

更級の月は、平安時代から都でも知られた名月の名所です。中世以降に耕作がはじまった姨捨の棚田では、江戸時代以降多くの文学作品や絵画の題材にも取り上げられてきました。現在も観月の名所として賑わい、耕作が続けられている歴史的風致です。

## 4 戸倉上山田温泉にみる歴史的風致

開湯120年の歴史を有した長野県屈指の規模を誇る温泉街と、水天宮の祭りとして始まった温泉夏祭や河川敷での納涼煙火大会、さらに重要文化財の智識寺大御堂や太々御神楽など、地域の人びとによって守り伝えられてきた歴史的風致です。

## 5-① 北国街道(下戸倉宿)にみる歴史的風致

## 5-② 北国街道(矢代宿)にみる歴史的風致

北国街道の隣り合う宿場の下戸倉宿・矢代宿には、諏訪の二大宮大工である大隅流と立川流により建築された神社が鎮座し、戸倉の水上布奈山神社の御柱祭、屋代の須須岐水神社の神輿などの伝統行事を引き継いでいる歴史的風致です。

## 6 兩宮坐日吉神社にみる歴史的風致

兩宮坐日吉神社の御神事踊りは、江戸時代には松代城まで出向き藩主の前で披露されていました。兩宮地区の人びとによって、現在まで四百年にわたって引き継がれ、重要無形民俗文化財の指定を受けた民俗芸能の歴史的風致です。

## 7 あんずの里にみる歴史的風致

あんず栽培の起源は、江戸時代に遡ります。農家の屋敷に植えられている在来種の大木は、あんず栽培の歴史を物語るとともに、花見や絵画の題材にも取り上げられています。あんずの里は、当市の特色ある農村景観となっている歴史的風致です。

## 8 森將軍塚古墳にみる歴史的風致

森將軍塚古墳は長野県最大の古墳で、発掘調査から市民の保存運動を経て、復原整備されるまでに約半世紀を要しました。市民による古墳の保存運動が特筆され、地域に残る古墳を後世に伝えるために、市民の保護活動が積極的に行われている歴史的風致です。

## 9 千曲川流域にみる歴史的風致

千曲川は、幾度となく洪水による被害を人びとに与えてきました。人びとは堤防の整備や水天宮を祀り洪水に備えるとともに、豊かな水を農業用水や伝統行事での禊ぎの場などに利用してきました。千曲川流域に暮らす人びとにとって、かけがえのない歴史的風致です。

